

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月3日	記入者	加藤敬	連絡先	5215
平成18年度部名	生涯学習部	課名	生涯学習課	課長名	高橋誠司
平成19年度部名	生涯学習部	課名	生涯学習課	課長名	高橋誠司
事務事業名	女性学習グループ育成費				
予算上の事務事業名	女性学習グループ育成費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				
施策名	第2施策 生涯学習活動の支援				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		▼	5 事業開始年度	昭和63年以前 ▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
女性の抱えている生活課題や地域課題について、自主的・継続的な学習活動をするグループを育成するとともに、グループ相互の連絡調整を図り、グループの充実・発展を促す。				女性学習グループ連絡協議会構成団体及び会員	
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
相模原市女性学習グループ連絡協議会の補助金の交付・・・52千円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
規模の違いがあるが、同様の内容を目的とした団体への補助金交付は他の自治体でも行っている。					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	81	81	52	52	52
一般財源	81	81	52	52	52
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	81	81	52	52	52
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	女性学習グループ連絡協議会補助金			対象名称 と単位	会員数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	81	81	52	52	52
対 象 数	200	200	200	200	200
単位あたり経費(円)	405	405	260	260	260
前 年 度 比		1.00	0.64	1.00	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	活動への参加率(%)	指標式と指標の説明	参加者数/会員数×100 ※会議や広報作成作業等に参加した会員の割合		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	70.0	70.0	70.0		
目標	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
目標達成度(%)	93.3	93.3	93.3		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	女性学習グループ連絡協議会構成団体数(団体)	指標式と指標の説明	各年度構成団体数 ※平成15年度構成団体数を目標とした。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	20.0	20.0	20.0		
目標	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0
目標達成度(%)	95.2	95.2	95.2		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果享受している。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		女性学習グループは、公民館事業のみならず、男女共同参画、子育て等事業で活躍し、より良い地域づくりに多大な貢献をしている。また、社会教育委員も選出しており、市の社会教育全般に大きな役割を果たしている。その活動を支援することは、市民全体の利益に叶うものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 女性学習グループが、地域の団体とのより密接な連携に努めることができるように活動を支援する。			1 5 課題として認識されたこと 個人主義的な風潮や地域の連帯の希薄化により、団体の活動が縮小傾向にあるため、団体の活動が地域に還元されていくような場を作り出していくことが必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			